

学生担当者報8

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉

TEL 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 462

立教 188 年
2025 年
7 月 25 日発行

学修経験がそれほどない私ですが、今年の学修・大学の部で、副塾長を務めさせていただきました。始まる前からこの役割は荷が重いと大きなプレッシャーを感じ、自分に自信が持てずにいました。そんな私は、直前研修会の時に激しい腹痛に襲われました。次の日から学生が来るので、他のスタッフとその準備に忙しくしている中、5分おきにトイレに行き、個室にこもっていました。「こんな大事な時に、自分は何をしているのか？」自分を責め、情けなさで、うなだれていました。また、感染症が流行している時期でしたので「病院に行ったら、立場を頂いているのに、学修を離脱するかもしれないから行けない。でも、学生に感染したらどうしよう」と悩んでいます。



学修経験がそれほどない私ですが、今年の学修・大学の部で、副塾長を務めさせていただきました。

「うれしい腹痛」

学修経験がそれほどない私ですが、今年の学修・大学の部で、副塾長を務めさせていただきました。始まる前からこの役割は荷が重いと大きなプレッシャーを感じ、自分に自信が持てずにいました。そんな私は、直前研修会の時に激しい腹痛に襲われました。次の日から学生が来るので、他のスタッフとその準備に忙しくしている中、5分おきにトイレに行き、個室にこもっていました。「こんな大事な時に、自分は何をしているのか？」自分を責め、情けなさで、うなだれていました。また、感染症が流行している時期でしたので「病院に行ったら、立場を頂いているのに、学修を離脱するかもしれないから行けない。でも、学生に感染したらどうしよう」と悩んでいます。

おやさまの動画を観る時間がありました。普段、教祖のお話を聴いたり、文字で読む機会はありませんが、女性の声で教祖のお言葉を聞くことがなかったせいか、気が付くと、私は涙を流していました。あれだけ、苦しく、悩んだ直前研修会の腹痛は、今、苦しんでいる女性カウンセラーをたすけるために教祖が用意してくださったものだったのだと強く感じたからです。今年の学修大学の部のテーマは「おやさまの心の拠り所」でした。学生だけでなく、私も教祖を感じさせていだいた学修となりました。

さて、いよいよ、夏の学修・高校の部が幕を開けます。学生だけでなく、育成者も育つ夏だと思います。ぜひ、参加される学生さんの背中をしっかり押し、快く送り出していきたいと思います。

学生部 委員

寺田 太平

学生担当者報

立教 188 年 7 月 25 日

・愛静	6月20日	大教会
・上之郷	6月21日	中山祥吉副委員長出向 大教会
・紀陽	6月21日	藤原親蔵委員出向 大教会
・山陽	6月21日	坂本明人委員出向 大教会
・中津	6月22日	飯降好助委員出向 大教会
・岐美	6月22日	中山祥吉副委員長出向 大教会
・西海	6月22日	清水慶政委員長出向 大教会
・西成	6月22日	山田作雄委員出向 大教会
・鎮西	6月22日	坂本明人委員出向 大教会
・双名島	6月22日	西川寿一委員出向 大教会
・郡山	6月23日	松森芳夫委員出向 大教会 東井申雄委員出向

・西宮	6月23日	大教会
・蒲生	6月23日	中山祥吉副委員長出向 大教会
・防府	6月23日	坂本明人委員出向 大教会
・八木	6月24日	西川寿一委員出向 大教会
・神崎	6月24日	中山祥吉副委員長出向 大教会 松森芳夫委員出向
・草薙紀聡 (秋田)		
・伊東 誠 (京都)		
・高村智之 (徳島)		
・加藤天平 (新潟)		
【直属学生担当委員長辞令交付】		
・池戸 理 (湖東・新發田)		
・早川 拓志 (愛知・知幡)		
・中村孝典 (秦野・幾寅)		

人事

《立教 188 年 6 月 25 日付》

【教区学生担当委員長辞令交付】

業務記録

《立教 188 年 6 月 16 日～7 月 15 日》

6月24日	担当者活動部部会
25日	委員会 例会
27日	広報室会議
7月2日	学生生徒修養会 高校の部 スタッフ事前研修会 (29日)
7日	まなびばチーム会議
8日	係員チーム会議
8日	人材育成部部会
9日	教祖百四十年祭学生おちばがえり大会 プロジェクトチーム会議
9日	高校の部研究室
10日	学生連絡会
10日	大学の部研究室
	卒業生コース研究室
	係員チーム会議

令和 7 年 学生担当委員会 活動方針
「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

学生が集いまなびば 8 月開催会場一覧

教区	日時	会場	担当者	連絡先
大阪	8 月 16 日 8 時 ～17 日 18 時	国立淡路 青少年交流の家	矢野恒英	06-6771-0012
岡山	8 月 18 日 8 時 30 分 ～19 日 16 時	犬島自然の家	横山大悟	086-222-5881
福島	8 月 18 日 15 時 ～17 時	教務支庁	牛坂直之	024-534-2251
長野	8 月 30 日 13 時 ～31 日 14 時	教務支庁	岡澤朋範	0263-54-0576
三重	8 月 30 日 14 時 ～31 日 14 時	教務支庁	中西元一	0596-28-4852

明日につながる
学生WEBSITE
Happist



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介します
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

https://happist.net

お知らせ

八月例会

期日…立教 188 年 8 月 25 日
時間… 15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

報告

六月例会

去る 6 月 25 日、教庁 4 階講堂において「6 月例会」を開催。出席は 30 教区、95 直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・京都 6 月 4 日 教務支庁

西川寿一委員出向

【直属学生層育成者講習会】

・本芝 6 月 5 日 大教会

清水慶政委員長出向

・都 6 月 7 日 大教会

清水慶政委員長出向

学生担当者報

学生生徒修養会 高校の部
スタッフ事前研修会開催報告

去る 6 月 27 日から 29 日の期間、本部第 7・8・9 母屋と第 12 母屋を会場に「学生生徒修養会 高校の部 スタッフ事前研修会」を開催し、総数 303 名（内、初回者 64 名）が参加しました。

本年の「学生生徒修養会 高校の部」もカウンセラーによるグループワークを中心とするプログラムとなっており、参加したスタッフたちは本期間のプログラムの流れや行事内容を確認するとともに、グループタイムの内容や受講生と関わる上での心構えを学びました。また、進行係、庶務係、救護係は期間中の申し合わせや役割を確認し、本期間に向けての準備を行いました。

初日午前、スタッフは学年ごとで集合し、オリエンテーションを行い、午後からの開講式では、学生担当委員会

勝村副委員長より挨拶とスタッフ紹介がありました。その後、再び各学年に分かれて学年タイムが持たれました。

2 日目、幸田委員より受講生と接する際の心構えとして「きく、みる、はなす」の講義があり、「委員長講話」では、清水委員長より陽気ぐらしの世界観を伝えるべく互い立て合いたすけあいの姿の具現化を心がけていきたい。さらには、おぢばのご用を通して普段の生活では出したことの無いような精一杯の真心を尽くさせてもらい、学生と共に我々も成長させてもらいたいと本部行事である学修のスタッフを務める上での心構えが示されました。

3 日目、閉講式では中山副委員長より挨拶があり、本番に向けていろいろな教祖のひながたを一つでもたどらせていただく。それが理づくりにもつながると述べられ、本期間で再会することとを誓い合い、解散しました。

青空

私は大学時代、要員育成室つくし会にて、当時の学生担当委員会の先生方にお育ていただきました。中でも、担当だったある先生の「立教の時、神様と人とのやり取りは、お断りから始まっている。だから、これから出会う人に、もし何か断られたら、それは何かの始まりのタイミングかもしれないよ」との言葉はずっと私の心の中で生き続けています。

話は変わりまして、私には 5 歳の姪っ子がいます。産まれた時から、周りを笑顔にする、明るい女の子です。先日、実家の教会に泊まりで帰ったときのこと。私は朝、寝坊をしてしまいました。朝づとめの 5 分前。小さな手が、私の布団をゆさゆさ揺らしします。「朝づとめに行きたいから、かずくん一緒に行こう」姪っ子の一言でした。私は内心、ああ…なんて情けないのだろう、と深く反省しました。「朝づとめは眠いし、もっと寝ていたい」そんな気持ちが先に立ってしまった自分に、恥ずかしさを覚えたのです。

しかし、その後、朝づとめの最中、彼女は全力で走り回り、終わった後、すぐに二度寝していました。どうやら彼女は、「朝づとめ」に行きたかったのではなく、「みんなが起きている朝づとめ」がうれしくて参拝していたようです。さんさい心って難しいな、と思った瞬間でした。三年千日を真剣に勤める中で、素直な心を忘れずに、ワクワクしながら残りの年祭活動を歩ませていただきたいと思います。

人材育成部本部スタッフ 水野 和仁